

鶏 鳴

けいめい

2009年4月12日(第24号)



イエスの言葉

『人はたとえ全世界を手に入れても自分の命を失ったら何の得があるのか。自分の命を買い戻すのにどんな代価を支払えようか』

聖書(マタイ福音書 16章 26節)
牧師 河合裕志

上記のイエスの言葉はもつともなことだろう。「全世界」とは話しがデカイがこれを手に入れるとは全世界に君臨し王になること、多くの人民を支配下に置き自由にあやつる者となること、金銀財宝を手中に収めることを言うのだろう。かつて全世界を手に入れた者はいないけどそのミニ版というか、ローマ帝国とかモンゴル帝国といった広大な領土、国々を従えた帝国が興った。日本も大日本帝国と号したっけ。

一体に人間には支配欲、征服欲といったものがあるのだろうか。物質欲、金銭欲は誰の胸にもあること。誰もより良い生活、豊かさを目指し懸命に努力している。全世界を手に入れようなどとダイソレタ野望は持たないけど人並みの、当り前の生活はしたいものだと思ってる。これは結構なこと、悪いことなんかではない。

ここでイエスが全世界と命をテンピンにかけていることに注目。イエスの価値観からすると命の方が全世界より上ということ。命あつてのモノダネ。命あつて初めて全世界を手にとりという話になる。全世界を得よう、あの土地、あの物を手に入れようとアクセクする、その過程でもし「命を失ったら何の得があるのか」ということ。過労死、これは是非避けたいもの。危険な作業は細心な注意が求め

られる。とに角何をしても死んではいけないんだ、命を失うようであつてはならないんだ。

命ってそんなに大切なものなの？イエスは「自分の命を買い戻すのにどんな代価を支払えようか」と言う。ひと度失われた命に対してはどんな代価、巨万の札束を積んでも決して見合うものではないと。でも人を死に至らせた場合私たちの世界は適当な賠償金でカタをつける。イエスによればどんな賠償額も充分でないことに。それ程に貴いものですよ、と。

命ってそんなに大切なものなの？Yes！それは神の作品だから、世界に二人として存在しない、唯一無二の、個性豊かな、代替不可能な神の傑作だから。(あなたもイケメン、美人さん)そんなにも貴い命をイエスはあなたの罪が赦され、神との交わりが回復され、永遠の命を与えるために十字架の上に捧げてくれた。だからだから益々命は貴い。あなたの命も私の命も。命を粗末にしちゃいけないんだ、最後の最後まで。あなたは神の作品、あなたにはイエスの命がかかっている。

集会案内

主日礼拝	: 毎日曜日	午前10時15分
こどもの教会	: 毎日曜日	午前9時
中高校生会	: 毎日曜日	礼拝後
婦人会・壮年会	: 第2日曜日	礼拝後
聖書を学ぶ集い	: 第4水曜日	午前10時
オリーブの会(読書会)		
	: 第3月曜日	午前10時